

虐待の芽チェックリスト(通所サービス版)

平成29年度 介護サービス等事業
管理者高齢者権利擁護研修
本日のふりかえり「配布資料」抜粋

虐待の芽や不適切ケアを自己チェックして、高齢者虐待を防止しましょう。

あてはまるチェック欄に○をつけてみてください。

番号	チェック項目	チェック欄(○)		
1	利用者に友達感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか？	している	していない	見たこと・ 聞いたことがある
2	利用者に対して、アセスメント・通所介護計画書等に基づかず、あだ名や○○ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていませんか？	している	していない	聞いたことがある
3	利用者に対して、威圧的な態度、命令口調（「○○して」「ダメ！」など）で接していませんか？	している	していない	見たこと・ 聞いたことがある
4	利用者への声掛けなしに介助したり、勝手に私物に触ったりしていませんか？	している	していない	見たことがある
5	利用者のプライバシーに配慮せず、職員同士で話題にしたり個人情報を取り扱ったりしていませんか？	している	していない	聞いたことがある
6	利用者に対して、「ちょっと待って」を乱用し、長時間待たせていませんか？	いる	いない	見たこと・ 聞いたことがある
7	利用者の参加しやすさや尊厳保持、自立支援を考えずに、流れ作業的にレクリエーションを実施していませんか？	ある	ない	見たことがある
8	利用者の呼びかけを無視したり、意見や訴えに否定的な態度をとったりしていませんか？	している	していない	見たことがある
9	食事や入浴介助の無理強いなど、利用者に嫌悪感を抱かせるような援助を強要していませんか？	している	していない	見たことがある
10	利用者の身体で遊んだり、人格を無視した関わり（落書きをする、くすぐるなど）をししたりしていませんか？	している	していない	見たことがある
11	利用者や利用者の家族の言動をあざ笑ったり、悪口を言ったりしていませんか？	している	していない	聞いたことがある
12	プライバシーへの配慮に欠けたケア（排泄について大声で話す、カーテンを開けたまま排泄ケアをするなど）をしていませんか？	している	していない	見たことがある
13	利用者に対して乱暴で雑な介助や、いい加減な態度・受け答えをしていませんか？	している	していない	見たこと・ 聞いたことがある
14	他の職員に仕事に関わる相談ができない等、職場でのコミュニケーションがとりにくくなっていませんか？	とりにくい	良好	（自分以外の人で） 該当する人がいる
15	他の職員が行っているサービス提供・ケアに問題があると感じることがありませんか？	ある	ない	—

(公財)東京福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成

☆無記名で定期的の実施・回収（年数回）し、集計・分析による課題把握を行い運営改善に取り組むことにより虐待防止につながります。

参考及び引用) 東京都社会福祉協議会高齢者施設福祉部会 生活相談員研修委員会 平成19年度生活相談員
スペシャリスト養成研修会Cグループ 作成「虐待の芽チェックリスト」
社会福祉法人 徳心会 介護老人福祉施設 いずみえん 作成「虐待の芽チェックリスト」

養介護施設従事者等による高齢者虐待のとりえ方

「高齢者虐待防止法」の目的は、「高齢者の権利利益の擁護」である（高齢者虐待防止法第1条）

- ・ 当事者の虐待に対する「自覚」は問わず、区市町村により虐待と判断される（「いじめてやろう」「虐げよう」と思っているかは、無関係）
- ・ 「高齢者が他者からの不適切な扱いにより権利利益を侵害される状態や生命、健康、生活が損なわれるような状態におかれること」を虐待ととらえる
- ・ 身体的虐待、心理的虐待、放棄放任、性的虐待、経済的虐待
- ・ 攻撃的言動や介護への強い抵抗があるなど、行動・心理症状（BPSD）がある高齢者が、虐待にあいやすい
- ・ 「高齢者の福祉に職務上関係のある者」には、早期発見努力義務がある（高齢者虐待防止法第5条）
- ・ 「養介護施設従事者等による高齢者虐待」とは、「養介護施設」又は「養介護事業」の業務に従事する職員が行う行為のことである

	養介護施設	養介護事業
老人福祉法による規定	老人福祉施設 有料老人ホーム	老人居宅生活支援事業
介護保険法による規定	介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 地域密着型介護老人福祉施設 地域包括支援センター	居宅サービス事業 地域密着型サービス事業 居宅介護支援事業 介護予防サービス事業 地域密着型介護予防サービス事業 予防介護支援事業

に従事する者を
「養介護施設従
事者等」という

身体拘束との関係

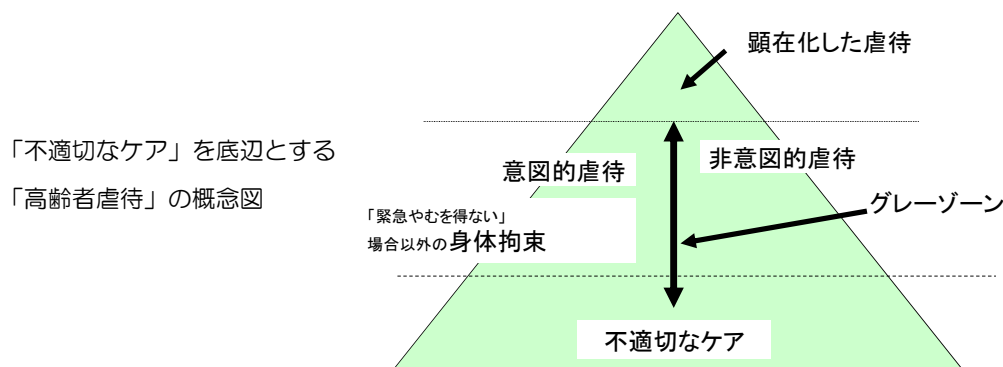
- ・ 「身体拘束その他入所者（利用者）の行動を制限する行為」として、介護保険指定基準において禁止対象になっている。
- ・ 「緊急やむを得ない場合（切迫性、非代替性、一時性）」であって、それらの要件の確認等の適切な手続きが極めて慎重に実施されている身体拘束以外は、「虐待」と捉えられる。

◇なぜ認められる身体拘束があるのか？

身体拘束とは、「人身の自由」や「個人の尊厳」を侵害する行為である。しかし、一方で「生存権」も人権であり、人身の自由や個人の尊厳を冒す行為ではあるが、命を守るために他に方法がない、という場合もある。

たとえ家族からの要求であっても、「緊急やむを得ない場合及び適切な手続き等」の要件に当てはまらない身体拘束は、「虐待」である。

（介護保険施設等実施マニュアルの「身体拘束の定義」を参考）



★柴尾慶次氏（特別養護老人ホーム フィオーレ南海施設長）が作成した資料（2003）をもとに作成
「高齢者虐待を考える－養介護施設従事者等による高齢者虐待防止のための事例集」
認知症介護研究・研修（仙台・東京・大府）センターより

（公財）東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成

養介護施設従事者等による高齢者虐待例一覧

	高齢者の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること	高齢者の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること	高齢者に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応その他の高齢者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと
身体的虐待	1. 暴力的行為（身体に接触しなくても、高齢者に向かって危険な行為や身体に何らかの影響を与える行為であれば、身体的虐待と判断することができる）		1. 威嚇的な発言、態度 ①怒鳴る、罵る。
	①平手打ちをする。つねる。殴る。蹴る。		②「ここ（施設・居宅）にいらねえ」などと言い脅す。 など
	②ぶつかって転ばせる		2. 侮辱的な発言、態度
	③刃物や器物で外傷を与える。		③排せつの失敗や食べこぼしなど老老化現象やそれに伴う言動等を嘲笑する。
	④入浴時、熱い湯やシャワーをかけてやけどをさせる。 など		④日常的にからかったり、「死ね」など侮蔑的なことを言う。
	⑤本人に向けて物を投げつけたりする。		⑤排せつ介助の際、「臭い」「汚い」などと言う。
	2. 本人の利益にならない強制による行為、代替方法を検討せず、高齢者を乱暴に扱う行為		⑥子ども扱いするような呼称で呼ぶ。 など
	⑥医学的診断や介護サービス等に位置付けられておらず、身体的苦痛や病状悪化を招く行為を強要する。		3. 高齢者や家族の存在や行為を否定、無視するような発言、態度
	⑦介護がしやすいうちに、職員の手でベッド等へ抑えつける。		⑦意味もなくコールを押さないで「なんでこんなことができないの」などと言う。
	⑧車椅子やベッド等から移動させる際に、必要以上に身体を高く持ち上げる。		⑧他の利用者に高齢者や家族の悪口等を言いつくらす。
	⑨食事の際に、職員の都合で、本人が拒否しているのに口に入れて食べさせる。 など		⑨話しかけ、ナーズコール等を無視する。
	3. 「緊急やむを得ない」場合以外の身体拘束・抑制		⑩高齢者の大切にしているものを乱暴に扱う、蹴す、捨てる。
	⑩徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。		⑪高齢者がたくてでもできないことを当てつけにやってみせる（他の利用者にやらせる）。 など
	⑪転落しないように、ベッドや体幹や四肢をひも等で縛る。		4. 高齢者の意欲や自立心を低下させる行為
	⑫自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。		⑫トイレを使用できないのに、職員の都合を優先し、本人の意思や状態を無視しておむつを使う。
心理的虐待	⑬点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。		⑬自分で食事ができるのに、職員の都合を優先し、本人の意思や状態を無視して食事の全介助をする。 など
	⑭点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、又は皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。		5. 心理的に高齢者を不当に孤立させる行為
	⑮車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったらないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける。		⑭本人の家族に伝えてほしいという訴えを理由なく無視して伝えない。
	⑯立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようないすを使用する。		⑮理由もなく住所録を取り上げるなど、外部との連絡を遮断する。
	⑰脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。		⑯面会者が訪れても、本人の意思や状態を無視して面会させない。 など
	⑱他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。		6. その他
	⑲行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。		⑰車椅子での移動介助の際に、速いスピードで走らせ恐怖感を与える。
	⑳自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する。 など		⑱自分の信仰している宗教に加入するよう強制する。
	4. その他		⑲入所者の顔に落書きをして、それをカメラ等で撮影し他の職員に見せる。
	高齢者を衰弱させるような著しい減食又は長時間の放置その他の高齢者を養護すべき職務上の義務を著しく怠ること		⑳本人の意思に反した異性介助を繰り返す。
介護・世話の放棄	1. 必要とされる介護や世話を怠り、高齢者の生活環境・身体や精神状態を悪化させる行為		21浴室脱衣所で、異性の利用者を一緒に着替えさせたりする。 など
	①入浴しておらず異臭がする、髪・ひげ・爪が伸び放題、汚れのひどい服や破れた服を着せている等、日常的に著しく不衛生な状態で生活させる。		1. 本人との間で合意が形成されていない、あらゆる形態の性的な行為またはその強要
	②褥瘡（床ずれ）ができるなど、体位の調整や栄養管理を怠る。		①性器等に接触したり、キス、性的行為を強要する。
	③おむつが汚れている状態を日常的に放置している。		②性的な話しを強要する（無理やり聞かせ、無理やり話させる）。
	④健康状態の悪化をきたすほどに水分や栄養補給を怠る。		③わいせつな映像や写真をみせる。
	⑤健康状態の悪化をきたすような環境（暑すぎる、寒すぎる等）に長時間置かせる。		④本人を裸にする。またはわいせつな行為をさせ、映像や写真に撮る。撮影したものを他人に見せる。
	⑥室内にごみ物が放置されている、鼠やゴキブリがいるなど劣悪な環境に置かせる。 など		⑤排せつや着替えるの介助がしやすいうという目的で、下（上）半身を裸にしたり、下着のままで放置する。
	2. 高齢者の状態に応じた治療や介護を怠ったり、医学的診断を無視した行為		⑥人前で排せつをさせたり、おむつ交換をせたりする。またその場面を見せないための配慮をしない。 など
	⑦医療が必要な状況にも関わらず、受診させないあるいは救急対応を行わない。		2. その他
	⑧処方通りの服薬をさせない、副作用が生じているのに放置している。処方通りの治療食を食べさせない。 など		高齢者の財産を不当に処分することその他当該高齢者から不当に財産上の利益を得ること
	3. 必要な用具の使用を限定し、高齢者の要望や行動を制限させる行為		1. 本人の合意なしに財産や金銭を使用し、本人の希望する金銭の使用を理由なく制限すること
	⑨ナーズコール等を使用させない、手の届かないところに置く。		①事業所に金銭を寄付・贈与するよう強要する。
	⑩必要めがね、義歯、補聴器等があっても使用させない。 など		②金銭・財産等の着服・窃盗等（高齢者のお金を盗む、無断で使う、処分する、無断で流用する、おつりを渡さない）。
	4. 高齢者の権利を無視した行為またはその行為の放置		③立場を利用して、「お金を貸してほしい」と頼み、借りる。
	⑪他の利用者に暴力を振るう高齢者に対して、何ら予防的手立てをしていない。 など		④日常的に使用するお金を不当に制限する、生活に必要なお金を渡さない。 など
	5. その他		2. その他

出典）社団法人日本社会福祉士会（2012）『市町村・都道府県のための養介護施設従事者等による高齢者虐待対応マニュアル』5～9頁より引用

養護者による高齢者虐待のとりえ方

「高齢者虐待防止法」の目的は、「高齢者の権利利益の擁護」である（高齢者虐待防止法第1条）

- ・ 当事者の虐待に対する「自覚」は問わず、区市町村及び地域包括支援センターは、客観的事実で虐待を判断する（「いじめてやろう」「虐げよう」と思っているかは、無関係）
- ・ 「高齢者が他者からの不適切な扱いにより権利利益を侵害される状態や生命、健康、生活が損なわれるような状態におかれること」を虐待ととらえる
- ・ 身体的虐待、心理的虐待、放棄放任、性的虐待、経済的虐待
- ・ 同居・近居家族からの虐待を「養護者（高齢者を現に養護する者）による虐待」といい、区市町村及び地域包括支援センターが対応する
- ・ 養護者（虐待者）の支援を謳っている（養護者を罰することが目的ではない）

発見・通報のポイント等

- ・ 「高齢者の福祉に職務上関係のある者」の①早期発見努力義務と②高齢者虐待を受けた高齢者の保護のための施策への協力義務（高齢者虐待防止法第5条）
- ・ 虐待と「思われる状態」で通報できる（証拠は必要なし）
- ・ 通報義務＞業務上の守秘義務
- ・ 通報者を特定させる情報はもらされずに対応される

（高齢者虐待防止法第7条、
個人情報保護法第23条）

（高齢者虐待防止法第8条）

